

## 係数の話

エンゲル係数というのは、なぜか結構多くの人知っている言葉だ。20年ほど前、東京の会社で仕事をしていたとき、アルゼンチン人の同僚が、エンジェル係数が高いことが僕の問題だ、などと言っていたので、世界中の人が同じように知っているのだろう。小学生のときに覚えた気がするが、授業で習ったのではないことは間違いない。・・・どこで覚えた？

エンゲル係数が高いということは、食うので精いっぱい暮らしをしていることを示す。家計に占める食料費とか家賃とか、そんなものの割合が高いということは、余暇とか学習とか、文化的な生活ができないということ。未来への備えや投資ができない。急な派遣切りで住む家もなくなった人などは、本当に大変だろう。

我が家のエンゲル係数は、さほど高くはないだろう。しかし、ローン（我が家の半分はまだ銀行の資産）、通信費（ケータイ、ネット）、保険などが相当な額になるので、結局、あまり余裕はない。円グラフを作ってみると、ギョッとするのが通信費。なんなんだこの暮らしは？

ネットに費やす時間を、一日の起きている時間で割り算してみると、結構な割合になる。これは、時間泥棒係数。ネットは時間泥棒だ。やはり、円グラフを作ってみるとギョッとする。

人類の出発点はサルのようなものだったから、その当時には、無駄なものは身につけていなかった。生まれて・食って・死んで・土にかえる、というのが人間の基本ならば、私たちの身の周りには無駄なものばかり。サルの生活に比べた無駄なもの指数は、100%に近い。（計算式 = (身の周りのもの - サルも持っているもの) ÷ 身の周りのもの）

ネットは時間泥棒だけど、「あの子、ばーない、盛ってくない？」などという言葉の意味もネットで調べたらちゃんと分かるからすごい。こんな駄文を書いて、ネットで勝手に他人に送りつけ時間を奪おうとするのは、ばーない無駄な行為だと思うが、ついついやってしまう。

ケンドールの順位相関係数というのがある。2つの順番の並び方に相関があるかどうかを計る指標だ。例えば、小学生20人に50m走をさせ、1位～20位まで順位をつける。次に、同じ20人に1km走をさせ、順位をつける。両方の順位が完全に同じ、つまり、50m走で1番の子は1km走でも1番、2位の子は2位、・・・のとき、50m走と1km走の順位相関係数は1.0となる。全く逆のとき、つまり、50m走が1位の子は1km走が20位、50m走が2位の子が1km走は19位、・・・50m走が20位の子は1km走が1位となるとき、順位相関係数は-1.0となる。係数の値は、-1.0から1.0の間をとり、数値の大きさは相関の大きさを表す。

この係数は結構使える。被験者5人が、20の商品について、それぞれ購入したい順に1位～20位の順番をつける。5通りの順位付けができるわけだが、その相互の順位相関係数をみて相関が高い人同士は、何か共通するテイストがありそうだ。美女コンテストで20人の美女に順位をつけるとする。順位相関係数を見ると、審査員の男と女の違い、国籍の違いで特徴が出るかもしれない。算法解説はネット検索で！（おっ、やっぱりネットは無駄じゃない？）